



子どもが
いきいき
する
ために

岐阜保育研究会第16回大会

2015年11月21日(土) 10:00~15:30

会場 岐阜聖徳学園大学 岐阜キャンパス

主催：岐阜聖徳学園大学短期大学部幼児教育学科 岐阜保育研究会
後援：岐阜県 岐阜県教育委員会 岐阜市 岐阜市教育委員会 岐阜県社会福祉協議会



岐阜保育研究会第16回大会は、「第8回岐阜オレンジリボンたすきリレー」のイベントリレーに参加しています

目次

[ごあいさつ]	1
(参加案内)	
[大会プログラム]	2
[会場アクセス]	3
[キャンパス内配置図][ご参加のみなさんへ]	4
[特別講演]	5
[保育者のための実践講座]	12
[研究発表]	14
[親子向け企画]	16
●親子で楽しくクッキング	
●あそびひろば	
[賛助団体]	18
[実行委員会組織]	20

ごあいさつ

岐阜保育研究会第 16 回大会

実行委員長 熊田 武司

本年は、岐阜聖徳学園大学短期大学部創立 50 周年を迎えることができました。

日頃より、本学の教育・研究にご理解・ご協力いただいている皆さまに心より感謝申し上げます。

さて、平成 12 年の秋に第 1 回が行われた岐阜保育研究会大会も、今回で第 16 回を数えることとなりました。これまでに引き続き、メインテーマとして「子どもがいきいきするために」を掲げ、年間を通して開催している「保育者のための実践講座」と共に、子どもがいきいきするために私たちに何ができるのかを参加者の方々とともに考えたいと思っております。

今回の特別講演には、いかわクリニック院長の井川典克氏をお迎えして、「発達を踏まえた保育・教育」と題した講演をしていただきます。

また、毎年多くの親子・保育者の方々に参加していただき、楽しい時間を過ごしていただいている幼児教育学科の学生達の企画・運営による「あそびひろば」も開催します。この学生による自主的な取り組みは、大会を重ねるごとに大学の主役である学生達が主体的にかかわり、学生達の学びにも効果がでてきていると感じています。

さらに、親子を対象とした「親子で楽しくクッキング」や保育者を対象とした「保育者のための実践講座」4 講座を開講します。

本学では、今後も大会を継続しながら、日常的に地域の保育者・保護者の方々と連携し、幼児教育・保育、子育てのあり方について共に考え、語り合うことができる場を作っていきたいと考えております。

最後になりましたが、子どもの健やかな育ちを願う多くの方々の参加に対して、実行委員一同、心より感謝申し上げます。

大会プログラム

保育者／一般向け

親子向け

9:45- 受付開始

10:00-11:30 (※講座 3 は、-11:00)

保育者のための実践講座 (→p.12)

2 家庭支援と保育相談支援 【2号館 6階 264 講義室】

3 オルガニートでオリジナル曲 【実技館 2階第1 音楽室】

4 科学する心を育てる保育 【2号館 3階 231 講義室】

5 食物アレルギーと食育 【2号館 4階 245 講義室】

10:00-12:00

親子で楽しく

クッキング

(→p.16)

【1号館 2階

第1 調理学実習室】

10:30-12:30

あそびひろば

(→p.16)

【体育館】

11:30-12:30

研究発表 (→p.14)

【2号館 1階ロビー】

13:00-14:30

特別講演「発達をふまえた保育・教育」(→p.5)

【多目的ホール】

井川 典克 氏 (いかわクリニック)

13:00-15:30

あそびひろば (→p.12)

【体育館】

-15:30 終了

- ・ 休憩所 【2号館 1階】 / 【体育館】 10:30-15:30
- ・ 食堂 【学生会館 1階】11:30-13:00 (その他の時間も休憩にご利用いただけます)
- ・ 託児 【体育館】 10:00-15:40 要事前申込 (詳しくは p.4 をご覧ください)
- ・ 授乳・おむつ交換 【1号館 1階第1 保健実習室】 10:00-15:45

キャンパス案内図

●受付

2号館 1階

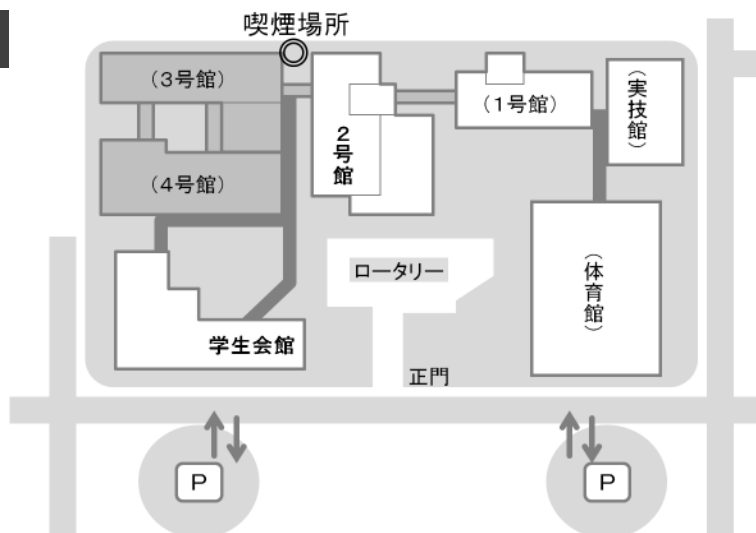
●食堂

学生会館 1階

●喫煙場所

2号館の北西（右図内◎）

（それ以外の場所は構内禁煙です）



ご参加のみなさまへ

1 受付（2号館 1階）9:45-

大会に参加される方は、必ず受付手続きを行ってください。（保育者／一般向けプログラム、親子向けプログラムとも。）会場内では受付でお渡しする**参加者章**をご着用ください。

2 休憩所（2号館 1階／体育館）10:30-15:30

休憩所には、お飲物をご用意しますので、セルフサービスにてご利用ください。

3 昼食（学生会館 1階）11:30-13:00

食堂を営業します。ご利用ください。（持ち込まれたお弁当などのお食事にもご利用いただけます。）

4 託児（体育館）10:00-15:40

満1歳以上のお子様の託児を承ります。（できるだけ事前にご連絡ください。）ただし、昼食時は、保護者の方がお子様をお連れいただくようお願いいたします。

5 授乳・おむつ交換（1号館 1階第1保健実習室）10:00-15:40

ご利用ください。

6 研究発表（ポスター掲示方式）について

縦80cm×横120cm程度のポスターボードを用意します。大会時間（9:45-16:30）を通じて掲示いただけます。

責任発表者の方は、11:30-12:30の時間帯、ポスターの前においでください。この時間内で、参加者との討論を自由に行ってください。

7 参加申込・問い合わせ先

- ・前日まで 058-278-0711（岐阜キャンパス代表）／058-278-4150（石田：ファクス兼用）
- ・当日 058-278-0711（岐阜キャンパス代表）

「発達をふまえた保育・教育」

井川 典克（いかわ のりかつ）氏 いかわクリニック 院長

●講師プロフィール

岐阜県生まれ。

平成6年、浜松医科大学医学部卒。岐阜大学医学部精神科入局後、須田病院 医局長（平成7～11年）、岐阜大学医学部精神科 助手・病棟医長（平成12～14年）、羽島市民病院精神科 部長（平成16～19年）、養南病院 副院長（平成14～16年、平成19年～平成22年）を歴任し、平成22年より、いかわクリニック 院長。

公職として、県立希望が丘学園 非常勤医師（平成14年～）、県中央子ども相談センター 非常勤医師（平成14年～）、西濃こども相談センター 非常勤医師（平成14年～）、県更正施設わかあゆ学園 非常勤医師（平成17年～）、精神保健福祉センター 通院公費福祉手帳判定委員（平成18年～）、岐阜赤十字病院 非常勤医師（平成20年～）、発達障がい者等支援体制整備推進連携会議 委員（平成21年～）、岐阜労働局 発達障害専門指導監（平成22年～）を務める他、市教育委員会適正就学委員会（大垣市・羽島市）、県障害福祉課各部会などに所属。

また、日本児童青年期精神医学会 評議委員、緑峰会養南病院 評議委員、社会福祉法人清穂会福祉工場 理事。

専門は、児童青年期精神医学。精神保健指定医、日本精神神経医学会 専門医・指導医。

1
岐阜保育研究会講演会
発達を踏まえた保育・教育

2015.11.21
井川典克

2
Ref:2002年12月12日、
連合中央執行委員会

- 家庭は、ふれあいの場であり、基本的な生活習慣等を身につける場。
- 社会は、就学前の子育てを母親任せに追い込んだ。
- 多くの大人との信頼関係が希薄化。
- 疑似体験で一人遊びが増加
- 子どもの体力低下傾向

3
Ref:2005年、経済産業省、
社会人基礎力に関する研究会

企業・経営者が採用時に重視する能力

1. 自分をコントロールする能力：責任感や積極性、柔軟性
2. 課題を見つけ、取り組む能力：課題発見力、実行力、創造力、チャレンジ精神
3. 人との関係をつくる能力：コミュニケーション能力、協調性、人に働きかける力

4
Ref:2009年9月11日、文部科学省、
子どもの徳育に関する懇談会

現代の若者・子どもの課題

1. 基本的な生活習慣の乱れ、
2. 自制心や規範意識の低下、
3. 人間関係を形成する力の低下、
4. 自尊感情の低下、
5. 他者への思いやりの低下、
6. 迷惑をかけないという気持ちの低下、

5
Ref:2008年、日本PTA全国協議会
子どもとメディアに関する意識調査

- 親が困っていること
- 「情報教育に関するもの」(ゲーム、携帯、インターネットなどへの不安)が37.9%と約4割を占めている。
- また、小学5年生の24.5%が、中学2年生の25.9%が、「メールの返信がないと不安になる」と回答しており、携帯電話への依存の傾向が見られる。

6
岐阜県特別支援教育対象者数の推移(人)

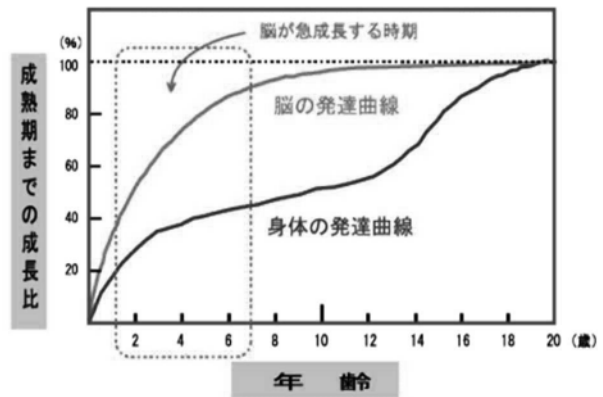
	平成5年	平成26年
特別支援学校	729	1240(学校が増えた)
特別支援クラス(知的)	1185	1925(学級が増えた)
特別支援クラス(肢体不自由)	17	47
特別支援クラス(病弱・身体虚弱)	14	16
特別支援クラス(聴覚)	32	20
特別支援クラス(言語障害)	122	0
特別支援クラス(弱視)	0	1
特別支援クラス(自閉症・情緒)	244	1132
過剰指導(言語・ADHD/ADD/LD)	22	2532

個人能力の発達

7

【 脳と身体の発育曲線 】

8



9

脳の制御

- 人間の脳は3歳までに80%、6歳までに90%、12歳までに100%完成する。
- 一方、体は5歳頃まで急速な成長し、その後緩やかとなるが、12歳頃から再び急速に成長する。
- それまでの脳の身体への制御のバランスが崩れる。大人しい子が急に不安定になる事がある。また、ホルモンが行動に影響を与える事がある。

10

活動に大切な「姿勢保持」

- 「伸筋」と「屈筋」の力のかげ具合を脳が制御して、程々の緊張(Tonus)で姿勢保持する。
- 例: はじめてのスキー・スケートの時: 脳の制御がほとんど運動機能保持に使われて、情報処理や言語活動が出来る余裕がない。

⇒ 全身を使う遊びが大切

11

情緒安定に大切な「感覚」

1. 前庭系 (前庭覚・振動覚)
2. 固有受容覚
3. 触覚 (⇒ふれあい)
4. 視覚 (⇒まなざし)
5. 聴覚 (⇒声かけ)

12

活動に大切な「視機能」

- 共同眼球運動 (追視、別ポイントに視線をジャンプ)
- 両眼視 (両眼の内よせ・外よせ)
- 調節 (ピントを合わせる能力)
- 視知覚 (目から入った画像の分析)
- 目と手の協応

⇒ 空間の中で目と手を使おう

活動に大切な「記憶」

13

- **ワーキングメモリ(作業記憶):**理解⇒記銘⇒保持⇒想起。
⇒視覚化した指示で再確認喚起が大切
- **手続き記憶:**体で覚えた記憶
⇒机上の知識だけでなく、体験が大切

言語理解と活用

14

- **マッチングの理解:**物と名称。
- **弁別・分類の理解:**違うものを分ける。
- **継時処理:**「～してから～」の処理。
- **同時処理:**複数の情報の処理。
- **優先順位・活動の切り替え**

指示応答性

15

- 落ち着いている
- 我慢ができる
- 集中保持ができる
- **実行機能が保たれている:**行動の開始
⇒行動の振り返り⇒行動の修正⇒実行。

対人・社会性の発達

16

対人認知の過程①

17

- 生後30分:モ/おも人の顔を追視
- 生後数時間:顔の部分より全体に反応
- 生後36時間:表情を弁別して模倣
- 生後数日:母親の顔を他人と識別
- 2ヶ月頃:社会的微笑(Social Smile)と喃語(なんご、Cooing)が出て、プレスピーチ(prespeech)が見られる。
- 4ヶ月頃以降:人見知り

対人認知の過程②

18

- 7ヶ月頃~:
- **共同注意(joint attention):**「自分」と「相手」と「物」の3者から構成されるコミュニケーション。
- **物のやり取り(turn taking):**自分からのシグナル発信→養育者の登場で問題解決を学習し、期待する。
- **養育者に対する期待を「他者に対する信頼感」、自分からのシグナル発信に対する有効性確信を「自己効力感」と言い、この2つで「基本的信頼感(basic trust)の獲得」→相互コミュニケーション**

対人関係の広がり

- 親と（本人寄り⇒譲れる）
- ⇒特定の大人と（本人寄り⇒譲る）
- ⇒不特定の大人と（本人寄り⇒譲る）
- ⇒特定の子供と（本人寄り⇒譲る）
- ⇒不特定の子供と（本人寄り⇒譲る）

19

適応の広がり



20

共感的対人態度

- 相手に励まし慰め見守る。
- 互いの興味関心・考えの相違を認める。
- 相手の嫌がることを言わないししない。
- 適切な対人距離がわかる。
- 話を聞く時静かにして注意を向ける。
- 場に合った声量で感情的にならない。
- 表情や語調から相手の気持ちを讀取る。
- 場に沿った挨拶や返答・質問をする。

21

社会的対処能力

- 自分からも声かけ・誘い・断りができる。
- トラブルが起きた時解決法を提案する。
- 思い通りに行かない時に妥協や思考の転換をする。
- わからない時や困った時に適切な援助を求める。
- 素直に謝る。ずるをしない。順番を守る。役割を果たす。

22

子供の課題は大人の課題

23

指導でなく考える事が大切

- 本人は、大人同士の対人関係を
- 1. 観察して、
- 2. 模倣して、
- 3. 試行錯誤を見守られ、
- 4. 自分にもできる事を実感して、
- 5. 自己肯定感を習得。
- ⇒ 本人の目にどのように映るかを大人たちがよく考えて行動すべき。

24

自己肯定感を育てる傾聴

25

1. 話に共感し、興味を持って聞く。(コミュニケーション態度)
2. 会話の時は冷静(感情コントロール)
3. ネガティブな言葉をポジティブな言葉に変換し使う(一番大切!!!)
4. 話を聞いたら感謝の言葉を。(感謝心)

自己肯定感を育てる指示

27

1. どうでもよい事は指示しない、必要な事は、簡潔明瞭に指示(指示応答性)
2. 指示した事は大人も守る(ルール遵守)
3. 好きな事から必要な事への切り替え(優先順位の提示)
4. 不安になる状況への対処法を子どもと一緒に考える(解決の継続努力)

療育で大切な事:トモニ療育センター

29

- 早期から基本的生活の確立をはかる。男や女としてエチケットを教える。
- 社会に受け入れられる行動ができるようにする。大きくなって禁止すると、激しい拒否にあう。
- かけひきを覚えさせない。機嫌をとったり、ご褒美は要らない。
- 指示したことは必ずさせる。 どうでもよいことは指示しない。

自己肯定感を育てる対人態度

26

1. 他者を軽視しない。他者の悪口を言わない。(他者尊重)
2. 他人と比較しない。どんな時も味方と伝える。(基本的信頼感)
3. 面倒だと思う人間関係でも根気良く対処(対人関係尊重)

自己肯定感を育てる指導

28

- 指導者の「指示を受け入れる」過程
⇒初めは「1つ1つ目の個別指導」が必要ですがこのままでは依存・反発が出る。
- 指導者の提案に「自己選択」する過程
⇒徐々に「事前に見通しを提示して、手を貸さずに声掛けの指導」
- 「自己決定」と指導者の承認の過程
⇒「見守っていて、困ったときに応じる指導」
- 「自己責任」と指導者への報告の過程
⇒「自己肯定感を尊重した指導」

3歳頃までの対人関係課題

30

- 愛着形成⇒家族との関係
- 基本的信頼感⇒他者との関係
- 生活習慣の形成⇒生活リズム
- 他児との遊び⇒大人間の付き合い
- 言語能力⇒大人間の会話

31

6歳頃までの対人関係課題

- 指示応答性⇒勤勉さ
- 自己肯定感⇒自己肯定感
- 感動する心⇒感動する心
- ルールを守る⇒道徳心
- してよい事、しなければならない事、してはならない事⇒善悪判断

32

10歳頃までの対人関係課題

- 他児を認める⇒自他尊重
- 自己肯定感⇒自己達成感
- 善悪判断⇒社会人マナー・法尊重
- 社会への関心⇒地域との付き合い
- 役割⇒地域・職場の役割・責任意識

33

14歳頃までの対人関係課題

- (他者と異なる自己内面への気づき、自意識と現実の相違への気づき)
- 親より友人関係への関心⇒見守り
- 葛藤の中での忍耐⇒揺れない心、
- 個性・適性・生き方の探求⇒適応力
- 他者と協力⇒協調性

34

18歳頃までの対人関係課題

- 自分の事はやる⇒自立生活を営む力
- 主体的な選択⇒自己決定力
- 生きる方・進路の模索・決定⇒職業
- 他者のへの感謝の気持ち⇒自他尊重
- 社会参加の自覚⇒自己責任性

35

18歳頃以降での対人関係課題

1. 適切な自己概念
2. 適切な自己開示
3. 責任性
4. 傾聴
5. 明確な表現
6. 感情の取り扱い

36

ナチュラリゼーション

- 人には「権利」と「義務」がある。
 - しかし、「権利」を主張しすぎると、「特殊」を主張する事になり、周りとの軋轢が生じる。
 - 逆に、「義務」で無理させすぎると、後に拗れた状況が生じることがある。
- ⇒自分にとって自然であると感じる事のできる社会生活実現(ナチュラリゼーション)が大切。

保育者のための実践講座2 10:00-11:30 2号館6階 264講義室

「家庭支援と保育相談支援（3）～参加するのが楽しみなクラス懇談」（担当：徳広 圭子）

保護者に対して保育指導を行う際、大切になるのは保育者と保護者の信頼関係です。その信頼関係を深め、保護者も先生方も、参加するのが楽しみになるようなクラス懇談について考えてみたいと思います。

この「家庭支援と保育相談支援」は2011（平成23）年度・2013（平成25）年度に続く3回目の講座になりますが、初めての参加も大歓迎です。

保育者のための実践講座3 10:00-11:00 実技館2階 第1音楽教室

「オルガニートでオリジナル曲を作る」（担当：阪田 順子）

オルガニートはオルゴールの基礎的な部分から成り立っています。音色も優しく、音楽療法に使われるほど。今回は、お気に入りの曲をオルガニートで奏でてみる試みです。

ハ長調が最も簡単ですが、移調の手間さえ厭わなければどんな調でも（短調はやや難しい）可能です。オリジナル曲の作曲もできます。ぜひ挑戦してみてください。

★オルガニートで奏でたい曲の楽譜（ハ長調が望ましいですが、移調の手間を厭わなければ何調でも可能です）をお持ち下さい。オルガニート本体と付属物はこちらでお貸しします。

★オルガニート本体の購入を希望される場合は、3,000円（原価）で販売いたします。数に限りがありますので、できるだけ事前にお申し込みください。

保育者のための実践講座 4 10:00-11:30 2号館 3階 231 講義室

「科学する心を育てる保育実践」(担当：林 秀雄)

科学という言葉は、ラテン語の「知ること」を語源としています。知ることや学ぶことの感情成分は、好奇心、日常体験への感情反応、できると感じやってみようと思う信念(自己効力感)など、いろいろな側面から構成されています。幼児期の科学する心について皆さんと考えてみたいと思っています。

★はさみ、のり をお持ち下さい。

保育者のための実践講座 5 10:00-11:30 2号館 4階 245 講義室

「食物アレルギーの最新情報と食育

～「乳幼児の食物アレルギー対策に関する実態調査」から学ぶ～(担当：高木 瞳)

総務省中部管区行政評価局及び富山行政評価事務所は、昨年度、愛知県と富山県の保育所、幼稚園等の施設と乳幼児アレルギー児の保護者を対象に調査した結果を「乳幼児の食物アレルギー対策に関する実態調査」として報告しました。食物アレルギー児は約9割の施設に在籍し、保育所の約5割で配膳ミス等の事故が発生していました。事故防止対策に取り組んでいる事例などを紹介し、また、食物アレルギーの最新情報もお伝えします。

★給食や園生活において、食物アレルギーで「ヒヤッとしたこと」「ハッとしたこと」がありましたら教えてください。

岐阜県下における児童虐待に関する考察 2015

岐阜聖徳学園大学短期大学部 徳広 圭子

1. 目的

岐阜県における 2014（平成 26）年度の児童虐待相談対応件数は 996 件で、過去最多記録を更新した（対前年度比 27.9%）。また虐待の種別で最も多くなったのが「心理的虐待」（全体の 41.9%）で、これまで不動の第一位だった「身体的虐待」（同 29.9%）を大きく上回ったところに特徴がある。さらに相談経路は「警察」が最多となり（同 21.2%）、順位が入れ替わり「家族・親戚等」を上回った（同 19.6%）。

このような変化は、県民に児童虐待が広く認知され、意識が高まったことが一因と考えられる。そこで 2008（平成 20）年以後、児童虐待防止月間である 11 月に毎年行われている啓発活動である「岐阜オレンジリボンたすきリレー」が果たす役割について検討したい。

2. 方法

厚生労働省「平成 25 年度福祉行政報告例」と社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について・第 11 次報告」、および岐阜県「児童相談・平成 27 年度版（平成 26 年度実績）」などを用いて、全国と岐阜県の児童虐待件数等を比較し、その特徴を明らかにする。

3. 結果と考察

当日は以下について発表する。

- ①岐阜県と全国の児童虐待件数等に関する比較
- ②岐阜オレンジリボンたすきリレーの第 1 回
（2008 年）～第 8 回（2015 年）までの取り組み、など

岐阜オレンジリボンたすきリレーロゴマーク



「保育所保育指針」からの引用が説明文の“見栄え”に与える影響

石田 開 (岐阜聖徳学園大学短期大学部)

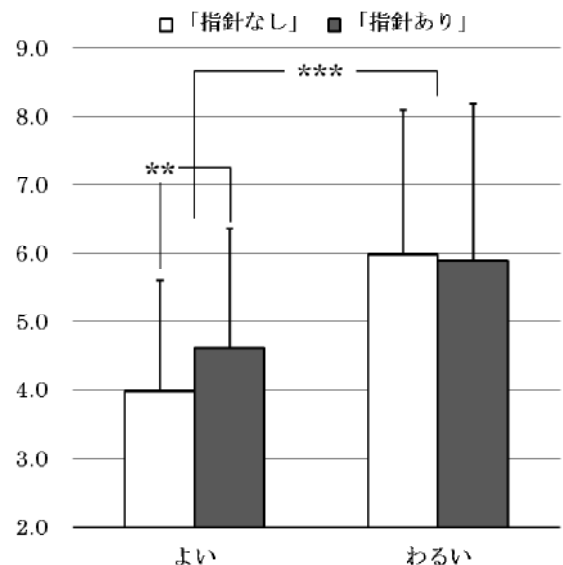
目的 「保育所保育指針」(以下、「指針」)は、保育所の保育内容と運営とについて定めたものであるが、その一方で、個々の保育所に対してそれらの多様性を損なうことなく適用可能なように、要点のみの記述となっている。したがって個々の保育所等や保育者が、その保育においてどのようにその要点を具現化していくかについては、恣意的な解釈の余地を多分に有していると言える。そのため場合によっては、その記述の援用それ自体が、内容的な関連性に関係なく、保育に関する記述や主張に権威を与える、あるいはその見栄えをよくしてしまうおそれもある。Weisberg ら¹⁾は、心理現象の説明文に対して、その説明には本来必要のない脳科学情報(当該の心理過程に關与することがわかっている脳部位を述べただけの記述)を付け加えると、人々、とりわけ脳科学を勉強し始めた学生が、説明文をよりよいものと感じてしまうことを示している。本研究ではそれに倣い、保育を学ぶ学生を対象として、子どもやその発達に関する現象に関する説明文に、その説明に本来必要のない「指針」の情報を付け加えることが、説明文の見栄えに与える影響を検討した。

方法 ①**対象** 岐阜県内の短期大学で保育を学ぶ学生(1・2年生)221名。②**手続き** 子どもやその発達に関する現象を記述した文章4つのそれぞれに対して、その現象の説明文を対象者に示し、説明文が現象に対する説明として「1非常に適切～6非常に不十分」(6件法)のいずれかを評定してもらった。その際、4つの現象に対する説明文のうち2つは現象に対してその発達の意味を説明したもの(「よい説明」)、残る2つは現象を言い変えて繰り返した同義反復に過ぎないもの(「悪い説明」)になっていた。また、被験者の半分(「指針あり」群)に対してはそれら説明の冒頭に、「指針」から引用した記述(現象記述に出て来る子どもの年齢や概念領域に対応してはいるが、説明文には本来必要なく、説明のよさを高めるわけではない記述)を付加して呈示し、残る半分(「指針なし」群)の対象者にはそれらを付加しなかった。

結果と考察 評定値(「よい/わるい」説明それぞれ2項目の合計)の平均を右図に示す。(評定値が高いほど、説明が「不十分」とされている。)評定値について、2要因(説明の「よい/わるい」×指針「あり/なし」)分散分析の結果、学生は、①概して「わるい説明」を「よい説明」より「不十分」だと評定し、②「よい説明」については、指針の記述が付加された場合(「指針あり」)、それが無い場合に比べて説明文を「不十分」だと評定した。

これら結果から、①学生は、同義反復に過ぎない説明を、適切に「不十分」だと判断した。(そしてこれは、説明の「よい/わるい」に関する刺激操作が妥当であったことを示してもいる。)また学生は、②

「よい説明」に対して本来必要のない「指針」からの引用によって(惑わされて)説明を“見栄えよく”感じることなく、「指針」の記述が無い時よりむしろ、(言わば適切に)「不十分」と判断した。



1) Weisberg D. S., Keil, F. C., Goodstein, J., Rawson, E., & Gray, J. R. : The seductive allure of neuroscience explanations. *Journal of Cognitive Neuroscience*, 20; 470-477, 2008.

親子向け企画

親子で楽しくクッキング 10:00-12:00 1号館2階 第1調理学実習室

【要事前申し込み】 (担当：生活学科 西脇泰子)

お子さんを中心に楽しく料理をつくりましょう。クッキング体験をとおして「食べる力」、「食べることの大切さ」に関心を持ち、料理することが好きになってほしいと願っています。包丁を使ったり、調理をしたりしながら楽しい時間を過ごしましょう。自分で作った料理は、きっと特別な味になりますよ！メニューは、当日のお楽しみ。

★対象年齢は3歳以上です。

★アレルギーなど食べられない食品がある場合は、必ず申し込みの際、連絡をお願いします。

★用意いただくもの：エプロン、三角巾（バンダナでもOK）、手拭きタオル、調理室で履く靴（体育館シューズのようなもの）

あそびひろば 10:30-15:30 体育館

【事前申し込み不要】 (担当：幼児教育学科学生ほか)

本学幼児教育学科で学ぶ学生を中心に企画した「あそびひろば」です。これまでの授業や実習での学び、ゼミでの研究を活かして、さまざまな遊びを用意しています。お子さんと大人の方での参加はもちろん、保育現場の先生方も、ぜひお立ち寄りください。（開催時間帯は、上記時間内で企画により異なります。）

◆どこまで飛ばせるか！自分で作ったフリスビー！（内藤ゼミ） 紙皿をフリスビーに変身させて、どこまで飛ばせるか挑戦してみよう！紙皿に自分の好きな絵を描いて、オリジナルのフリスビーを作ります。しっかりと飛ばせるようにかたちを整ええー！さあ飛ばしてみよう！投げるのは難しいけれど何度もチャレンジ！たくさん飛ばせたひとにはお楽しみが待ってるよ！

◆おはなし広場（熊田ゼミ） 学生が創作したパネルシアターやエプロンシアター、ペープサートなどを上演します。また、影絵芝居「手影絵で遊ぼう」、児童劇「三匹の子ぶた」の公演を行います。学生たちが精一杯頑張って製作した作品を、ぜひご覧ください。

◆パーカッション・アンサンブル・コンサート（木許ゼミ） みんながよく知っている打楽器（パーカッション）を集めて、みんながよく知っている曲を演奏します。大きな太鼓や小さな太鼓、木琴や鉄琴の仲間と一緒に演奏すると、どんな音楽になるのか楽しみにしててくださいね。小さなお友だちからおじいちゃん、おばあちゃんまで、みんなでひとつのリズムを感じながら楽しんでください。

親子向け企画（あそびひろば 続き）

◆トンネルの向こうにがわには・・・(児玉ゼミ) トンネルをぬけた先には、なんと竜宮城が！！
竜宮城にかくされたお宝を見つけることができるかな？最後にはお宝がもらえるよ！

◆いっしょにつくろう！みんなであそぼう！（齋藤ゼミ） みんなは何つくる？いつもとは違う大きな紙に描いたり、はじめて見るような長いビニールで作ったり、「どきどき・わくわく」する体験を一緒に楽しもう！

◆プラバンでキーホルダーをつくろう！（木戸ゼミ） プラスチックの板に、好きな絵を描いて、オーブントースターで焼くと、あら、不思議、ペラペラやわらかかったプラ板が、あっという間に、かたくて小さくなってしまいます。自分だけのお気に入りのキーホルダーを作ってみませんか。

◆ぬり絵：人気キャラクターや学生オリジナルのぬり絵を楽しみましょう。（阪田ゼミ） クレヨン、色鉛筆、パステルなどを使って、ぬり絵をしましょう。世界でたった一つの作品ができますよ。お友達やお母さんといっしょに一つのぬり絵を作り上げるのもいいですね。優しい阪田ゼミのおねえさんたちとじゃんけんしながら作っていくのも楽しいよ。

◆僕たちのカラフルスーパーボール！（徳広ゼミ） お祭りの屋台などでよくみるスーパーボールは、洗濯のりと塩と水で簡単に作ることができるって、知っていますか？スーパーボールを作る中で、液体から固体への変化に驚き、小さな手で球体にする達成感を味わってみましょう。そして、世界で一つしかない自分が作ったスーパーボールが弾む様子や鮮やかな色を楽しみましょう。

◆こまや三角ポッチで一緒に遊びませんか！（仲野ゼミ） 折り紙を材料にコマやキャラクターを折ってみます。出来上がった作品で楽しく遊んでみましょう。また、三角ポッチを利用して、いろんな腕輪や帽子など様々なものを創り出して遊びます。

◆つくって とぼして ひこうき！（石田ゼミ） みぢかにあるもので ひこうき をつくろう。いろをつけて じぶんだけの ひこうき に してね。つくったら いっしょに とぼして あそぼう。We hope you will enjoy your flight with us !!

中島金物店 様

ヤナカメ 様

(五十音順)

本大会開催にあたり、上記団体様より多大なご支援を賜りました。
ここにご芳名を記し、感謝の意を表します。

岐阜保育研究会第16回大会 実行委員長 熊田 武司

建築金物・家庭金物

中島金物店

岐阜大学・岐阜市 指定店

岐阜市則武(北高前)中1丁目1番36号

電話 058-232-3517

FAX 058-233-3643

Yショップ ヤナカメ

- 証明写真撮影 (スタジオ有り)
- 集合写真撮影、出張撮影
- お弁当 (¥250~) その他いろいろ
- ツネトミヤクリーニング

- スクールバス回数券
- 文具一式
- デジタルプリント ¥30、¥50/1枚
- FAX、切手、ハガキ

☎ 058-275-6269 (岐阜C)
058-279-4727 (羽島C)

(●・・・・企画委員)

【委員長】 熊田 武司●

【実行委員】 石田 開● 大西 薫 木戸 啓絵●
(五十音順) 木許 隆 児玉 俊郎 齋藤 正人
 阪田 順子 徳広 圭子● 内藤 譲
 仲野 悦子● 蜷川 祥美 林 秀雄

岐阜保育研究会 第16回 大会 要項集

2015年10月 発行

発行者 岐阜保育研究会／岐阜聖徳学園大学短期大学部幼児教育学科

事務局 岐阜聖徳学園大学短期大学部幼児教育学科内

〒500-8288 岐阜市中鶯 1-38 tel 058-278-0711 (代表)